

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更(※)	理由・根拠
福祉施設から一般就労への移行	・事例検討会 就労・生活支援センターようわ参加	P. 38	1 1月30日開催 2 5名参加	ようわの事業の理解促進と、一般就労している方の生活、課題に対して関係者の役割を確認できた。	終了・継続 → 同じ・変更	ようわの事業所理解は図れた。委託相談についても改めて知ってもらえた。
	・事業所見学会の実施 他の事業所を支援(の仕方)を知ること、ライフステージに必要な支援を学ぶ	P. 32 P. 38	11月実施 見学受入れ55事業所参加	他事業所の内容を見学をすることや、ライフステージの中で必要な見学することで、環境の工夫や、支援での学びがあった。	終了・継続 → 同じ・変更	来年度は年2回を想定し、事業所と保護者や学校等を対象に見学会を行う。目的は事業所間は横のつながりと連携、保護者や学校向けは事業の周知啓発とする。
社会参加の促進	・地域の人との交流、障害者の参加できる居場所の確保	P. 47	「にじカフェ」開催 ・第3回7月28日実施「親子で就労体験」 参加者：7組の親子と他9名	7月のにじカフェでおこなった「親子就労体験」は、作業体験と事業所のスタッフと相談ができたことで子の作業能力を確認できた。また、相談もできる場だったので、サービス事業者の情報を知る機会になった。	終了・継続 → 同じ・変更	3月に第4回にじカフェ開催を予定していたが、インフルエンザ、コロナ等が流行りだしたことで、各事業所のスタッフ不足もあり延期とした。2月25日に福祉のお仕事フェアに協力参加し、周知啓発を行った。
事業所の理解促進、障がい者雇用の促進	・障害者雇用月間支援月間ポスターの配布	P38	9月ポスター掲示	ふれあいセンターに掲示した。	終了・継続 → 同じ・変更	就労事業所にも掲載依頼をしていく。

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更(※)	理由・根拠
障害者に関する理解の促進	・障害者が働く事業所ガイドブックの更新	P32 P38	各連絡会の部会担当で話し合い、掲載内容や、色、文字体などを統一した。	市民の皆様に見やすいガイドブックに仕上げる事ができた。 サービス事業所及び、関係機関に3月以降で配布予定。	終了・継続→同じ・変更	来年度からは、新規事業所や、記載情報の変更があった箇所のみ、修正していく。

(※) 次年度も同じ内容で継続、または目的を変えず方法を変えるという意味で変更